

山下 宏先生 略歴

御略歴

昭和八年 長野県に生まれる

昭和三五年 国学院大学文学部文学科卒業

昭和三九年 法政大学大学院人文科学研究科（日本文学専攻）修士課程修了

昭和三五年 西尾実助手（四七年）

昭和四七年 信州大学講師（教育学部）

昭和四九年 信州大学助教授（教育学部）

平成元年 信州大学教授（教育学部）

平成七年 信州大学教育学部五十年誌編纂部会会長（一一年）

平成一一年 定年退職 信州大学名誉教授

長野経済短期大学非常勤講師

主要御著書・論文目録

（論文）

言語教育と文学教育―文学教育の立場から― 「教育科学国語教育」 No. 四四七
読解の基礎技能を訓練する方法―小学校段階の訓練方法― 平成三年八月

漢字の語句・語彙の拡充の意味とその指導 「教育科学国語教育」 No. 四五三 平成三年二月

国語教育の基本的なあり方を考える 「日本文学誌要」 第四八号（法大国文学会） 平成五年二月
文章の表現力を高めるための基礎的研究―特に漢字の語句・語彙を中心に― 「信濃教育会教育研究所第二部門研究報告書」 第三集 平成五年二月

「信濃教育会教育研究所第二部門研究報告書」 第三集 平成七年一月

言語生活を高めるための基礎的研究―漢字指導についての基本的な考え方―

同右 第六集

平成 八年 一月

西尾実国語教育論を授業に生かす 読むことの学習―「行的方法」の現代的意義―

「授業創造」No.一九

平成 八年 一月

二十世紀末の子どもたちは「トロッコ」に乗れるか

「月刊国語教育研究」No.三〇四

平成 九年 八月

文章表現指導における主題・構成・推敲の取扱いについて

「信濃教育会教育研究所第二部門研究報告書」第八集

平成一〇年 二月

不易と流行―信州教育の潜勢力― 「月刊国語教育研究」No.三三二

平成一一年 二月

〔著書〕

国語教育と作品研究

笠間書院刊

昭和五三年 二月

国語教材理論の探究

教育出版センター刊

昭和五九年 四月

正法眼蔵を読む―教育的視点から―

信濃教育会出版部刊

昭和六一年 一〇月

心に培う文学教育の構造

溪水社刊

平成 二年 九月

川端康成の人間と芸術（川嶋至・長谷川泉他と共著）

教育出版センター刊

昭和四六年 四月

文学作品研究論集（小林辰威・原芳徳他と共著）

信濃教育会出版部刊

昭和五三年 二月

講座 中学校国語科教育の理論と実践 第四卷

文学的文章Ⅰ
有精堂刊

昭和五六年 二月

（増淵恒吉・西郷竹彦他と共著）

西尾実研究（安良岡康作・近藤頼道他と共著）

教育出版刊

昭和五八年 七月

講座 現代の文学教育 第二卷 小学校中学年編

新光閣書店刊

昭和五九年 五月

（田近洵一・安藤操他と共著）

小学校国語科授業研究（田近洵一・井上尚美他と共著）

教育出版刊

昭和六〇年 一〇月